2026年11月４日

お客さま本位の業務運営に関する取組状況および ＫＰＩ実績値の公表について

大分県信用農業協同組合連合会（以下、「当会」という。）は、県下ＪＡと一体となり、農業経済安定・向上を図る他、組合員の皆さま、地域の利用者の皆さまのため、高度化、複雑化する金融ニーズに対応し、安心・便利にご利用いただけるＪＡバンクを目指し事業に取り組んでいます。

当会では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶ上で比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通ＫＰＩ」）も同時に公表いたします。

大分県信用農業協同組合連合会

Ⅰ.取組状況

1　お客さまへの最適な商品提供 【原則２本文および(注)、原則３(注)原則６本文および(注２、３、6，7)補充原則1~5本文および(注)】

- お客さまに提供する商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、運用会社におけるプロダクトガバナンスの取組や社会情勢、手数料の水準等も踏まえたうえで、定められた会議体で適切に協議を行い、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。また、JAバンク全体として運用会社と相互に情報連携を行い、いろいろな「投資に関する好み」に合った商品を揃えつつ、お客さまにとっての選びやすさも考慮し、一定の商品数に絞った「ＪＡバンク　セレクトファンド」をご用意しております。なお、当会は、金融商品の組成に携わっておりません。

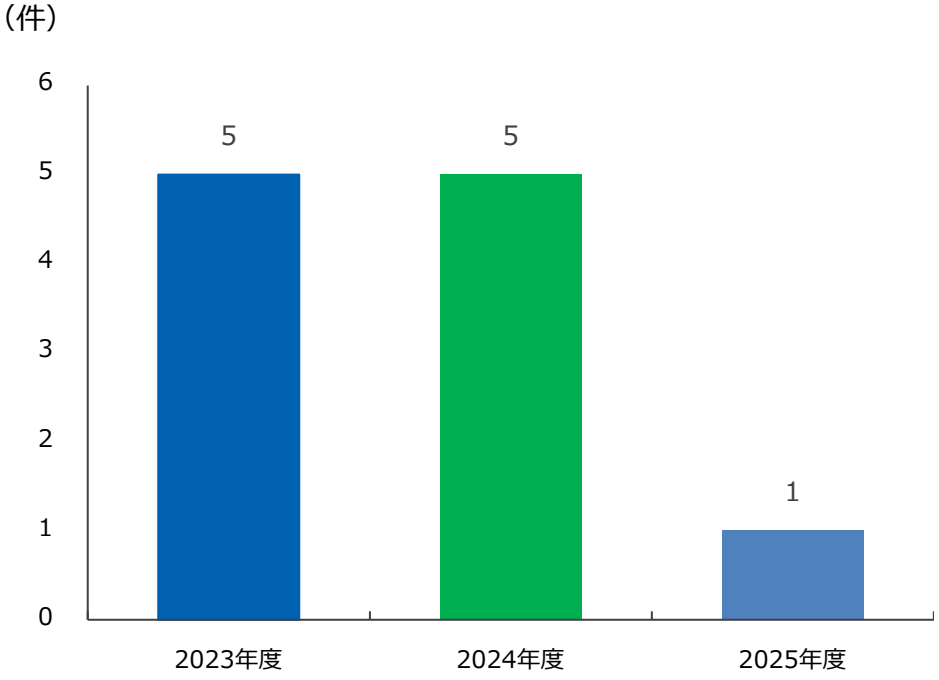
＜投資信託の取扱い商品ラインナップ（2026年3月末時点）＞

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 （前年度末：１）	4 （前年度末：4）
株式型	4 （前年度末：３）	10 （前年度末：5）
REIT型	1 （前年度末：1）	2 （前年度末：２）
バランス型	9 （前年度末：７）	

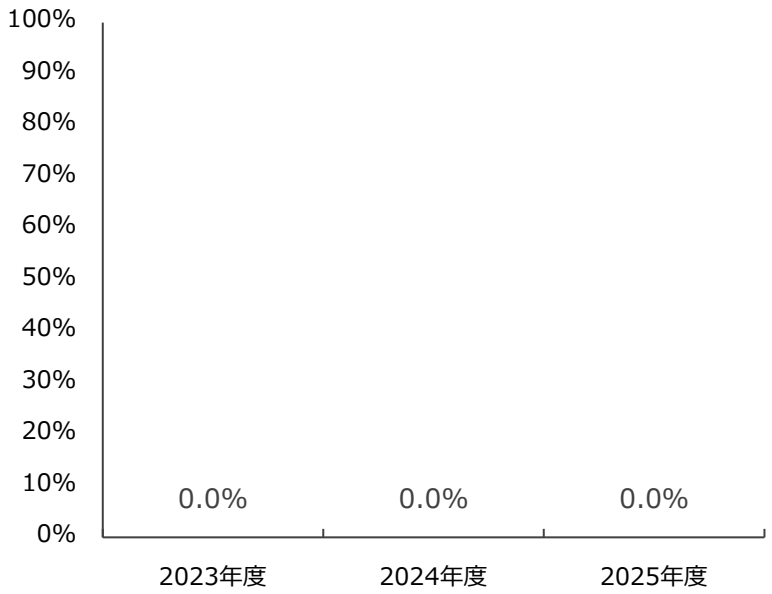
2　お客さま本位のご提案と情報提供①　【原則２本文および(注)、原則５本文および(注１～５）、原則６本文および(注１～7)】

- 当会では、窓口販売を基本としており、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的を十分に確認のうえ、各商品の販売用資料等を基に対面での商品の説明を行い、適切な情報提供を行うとともに、お客さまにふさわしい商品をご提案し、属性・適合性を判断したうえで販売いたします。また、高齢のお客さまに対する提案時には、役席者を同席させ、厳格な適合性判定を実施しております。「投信つみたて」を利用されるお客さまは横這い、「毎月分配型ファンド」を選択されるお客様は2026年3月末時点ではおられません。

＜投信つみたて契約件数の推移＞



＜購入額に占める毎月分配型ファンドの比率＞



2　お客さま本位のご提案と情報提供②　【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1～7)】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、「セレクトファンドマップ」等の提案資材を利用し、お客さまと対話するうえで、分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供しております。
- なお、お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように2022年4月から重要情報シート等を用い丁寧かつ分かりやすい説明に努めております。

3　利益相反の適切な管理 【原則３本文および(注)】

- 当会では、お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理しております。なお、利益相反の恐れがある取引について、以下のとおり類型化しております。

(a)お客さまと当会の間の利益が相反する類型

・優越的地位の濫用等

・独占禁止法に抵触するおそれのある取引、または同法の趣旨に照らして、レピュテーショナル（風評）リスクを発生させるおそれのある取引を行う場合

(b)当会の「お客さまと他のお客さま」との間の利益が相反する類型

・グループ会社との取引に際し、アームズ・レングス・ルールに違反する場合

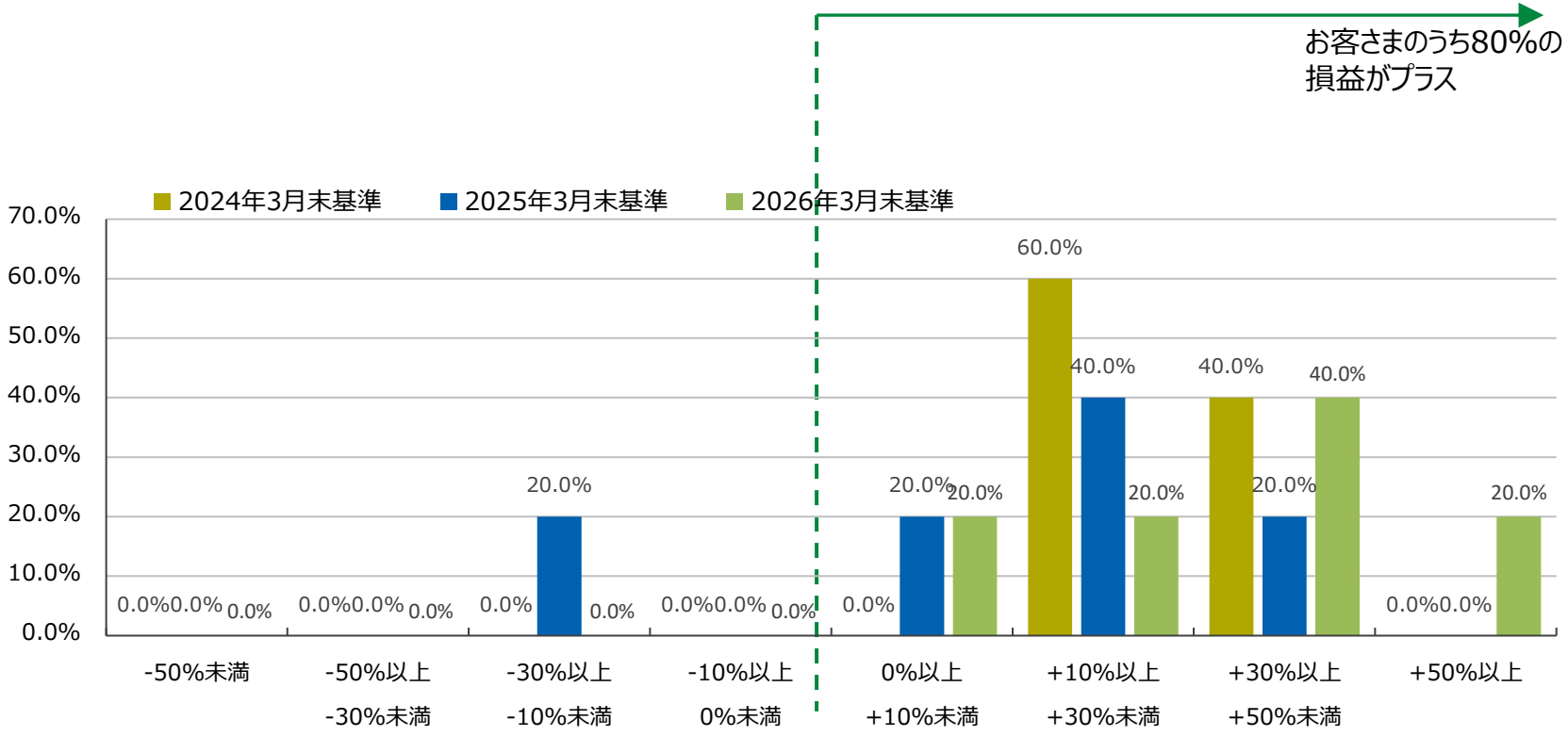
・接待、贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合

4　お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築 【原則2本文および(注)、原則6(注5)】【原則７本文および(注)】

- 当会では、外務員・内部管理責任者・営業責任者業務の研修システムを利用したe-ラーニング受講や研修による指導、資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。

1　運用損益別顧客比率

- 「運用損益別顧客比率」は、お客さまへ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2026年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。

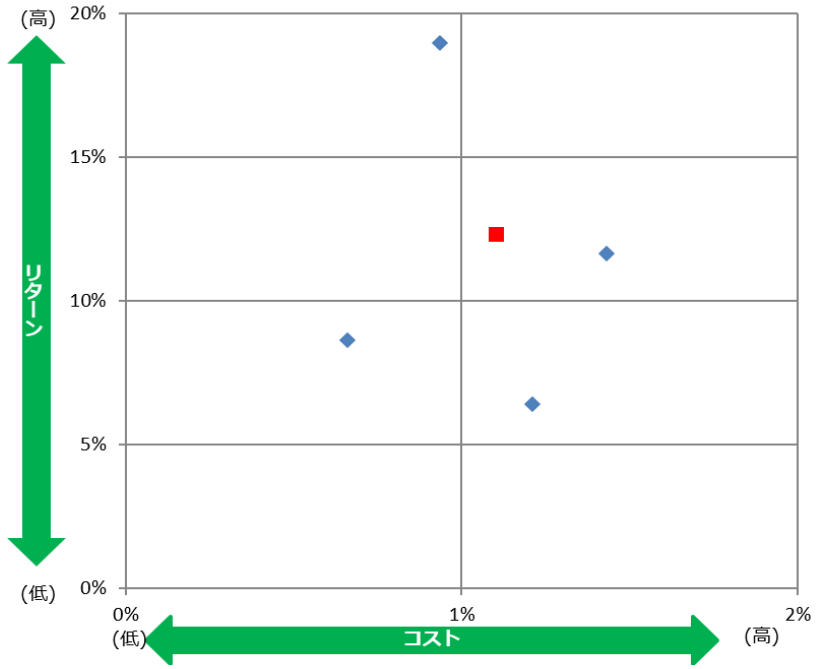


Ⅱ.比較可能な共通ＫＰＩ

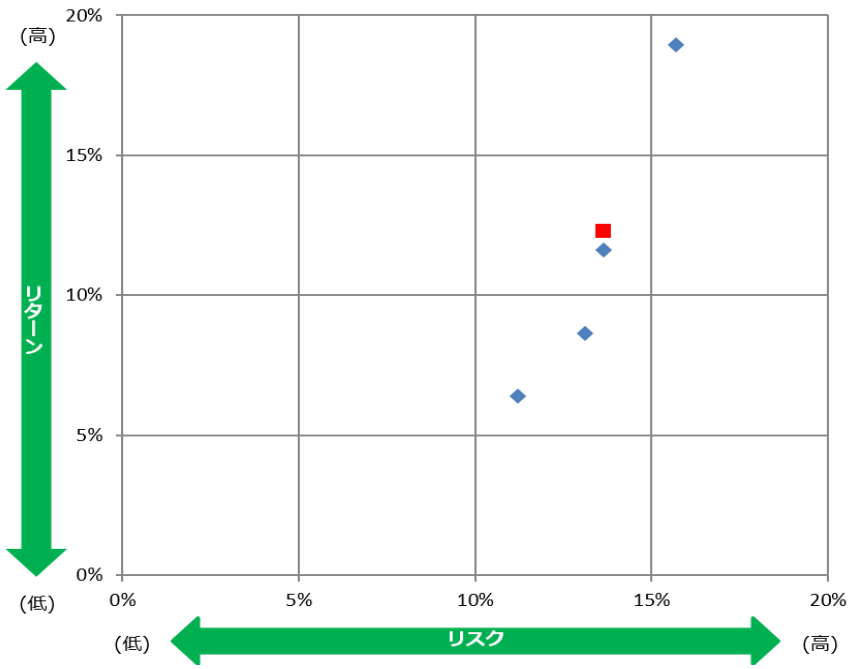
2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年３月末）

- 当会では、取扱うファンドの運用実績をお客さま本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 2026年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.10%、平均リスク13.63%に対して、平均リターンは12.3%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※赤い点は平均値を示しています。

2　投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2026年３月末）

【預り残高上位20銘柄（設定後5年以上経過したもの）】

	ファンド名	運用会社	リターン（年率）	リスク（年率）	コスト全体
1	米国株式　S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	18.94%	15.69%	0.94%
2	長期厳選投資　おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	11.63%	13.63%	1.43%
3	おおぶねＪＡＰＡＮ（日本選抜）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	6.40%	11.20%	1.21%
4	おおぶねグローバル（長期厳選）	農林中金バリューインベストメンツ（株）	8.63%	13.12%	0.66%
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.30%	13.63%	1.10%

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。